

特定非営利活動法人 ポラリス



2019年度 事業報告
2019年4月1日～2020年3月31日

2019年度 事業報告 目次



1. ごあいさつ	1
2. 総務	2
3. 障害者就労継続支援B型事業所ポラリス	3
◆就労継続支援B型事業所ポラリス	
◆はたらく	4
・アートな仕事	5
・ポラリスコーヒープロジェクト	6
・風の章ガーデンプロジェクト	7
◆たのしむ・まなぶ	8
・素敵に生き、はたらくことを応援するプロジェクト	9
4. 相談支援室ポラリス	10
◆相談支援室ポラリス	
◆「相談支援室ポラリス」整備プロジェクト	11
◆新地町障がい児者相談支援事業(新地町 委託事業)	12
◆ポラリス×新地町 障害福祉エンパワメントプロジェクト	13
5. 組織の基盤強化	14
◆ポラリス×新地町 障害者の社会資源と人材をつくるプロジェクト	
・企画研修 ～スタッフの育成とチームワークの強化～	15
6. 活動報告・紹介	16
7. 応援ありがとう / 組織概要	20



ポラリス



ポラリス こう・ふくアトリエ



相談支援室ポラリス

2011年3月、宮城県山元町は、東日本大震災で甚大な被害を受けました。それから町の復興を目指し「誰もが安心して暮らせる町に。」と皆が願い、そして私たちは「障害を持つ人も持たない人も共に支え合い暮らすことが出来るしなやかで優しい町づくり」を目指し、NPO法人ポラリスを2015年に設立しました。

私たちは震災後に活動を再開した時期に「被災地の障害者の仕事づくりを応援するアート」に取り組まれている全国の障害のあるアーティストとその活動を支援するスタッフから「アート」での仕事づくりの応援をいただき、「アートは各々の可能性や多様性を認め合い、自己肯定力を高めるためのもの」という事や「私たちの生きる力の取り戻し」に必要な活動であると実感しました。ポラリスは、設立直後から「アート&ケア」の活動をはじめ、2016年からはポラリスの近所の清水さん宅をお借りしてオープンした「ポラリス『こう・ふく』アトリエ」を活動拠点として、より充実した創作活動が出来るようになりました。

同時に、地域コミュニティづくりのために、産業、教育、観光、農業、地域づくり、障害福祉など様々なテーマについて世代や立場、業界を超え学び合う「対話と学びの場」を企画し、それぞれの分野で地域で活動しているリーダー同士が地域づくりのためにつながることに貢献ができたと感じています。

震災により山元町は、少子高齢化や人口流出が進んでおり、働き手不足になることが懸念されています。そのような中、障害者も地域の担い手としていきいきとはたらく事ができないか考えました。その願いを可能にする障害者の素敵なはたらき方が、“山元町のイチゴの復興”を目指す株式会社GRAの協力で叶えられました。それを機に少しずつ地域からお仕事をいただけるようになり、現在は9企業・団体から施設外就労の場をご提供していただいております。これまで治療やリハビリのために社会の中での活動経験が少なく対人的苦手意識を持つ当事者たちが、地域全体をフィールドにし、地域の皆さんの優しさに触れながらはたらきだしました。そして自己有用感を持てるようになって表情もどんどん明るくなってきています。

また、私たちは、被災したこの地域に暮らす皆さんが少しでも元気を取り戻せるようにと願い、障害のある人もない人も共に「コミュニティアート」や「生涯学習」に参加する機会をつくってきました。2016年12月に再開したJR常磐線山下駅の隣にオープンしたスーパー「フレスコキクチ」から「山元町が元気になるアート」をテーマにした壁画デザインを制作するお仕事をいただきました。エイブル・アート・ジャパン、フラッグデザイナー福井恵子さんに企画やデザインの応援をいただくことができ、1年をかけて山元町の古代から現在、未来の歴史や民俗、文化、自然などについて学び合い、それら「山元町の魅力」を発信するアートを東北のアート「きりこ」で表現し、高さ2メートル、長さ33メートルの巨大なアートを表現する壁画ができました。2017年は、この壁画に描かれている山元町の魅力について、障害のある人と地域の方とが学び合う場を作りながら、その学びの成果として冊子「山元ものがたり」を制作することができました。

「障害があっても地域に出てはたらく事や、学ぶ事はとても嬉しいこと、素敵なこと。」これまでのポラリスの「はたらく・まなぶ・たのしむ」活動に参加しながら、当事者たちが力をつけていることを大いに感じています。そして、障害のある人も地域の人たちも主体的に地域づくりに参加する、その意義を実感しています。

山元でのNPO活動が定着し始めた2018年の春に、山元町と隣接する福島県新地町の障害福祉も同様の課題を抱えているという現状を知りました。私たちが震災後に取り組んできたことを活かして、新地町に暮らす障害のある方やご家族にも少しでも孤立を防ぎ安心してほしい。そんな思いから「相談支援室ポラリス」を立ち上げました。これまでのポラリスの活動で力をつけてきた当事者や家族は新地町で自分と同じ様に悩みを抱えている人たちと、対話によるピアサポート活動に取り組み始めました。またスタッフは、新地町での新たな活動でトライ＆エラーの経験を重ね、学びながら、専門スタッフとしての意識やスキルを高めています。震災から9年経ちますが、私たちの日々の活動は、自然災害などを避けられない不安がある時こそ必要な活動と再認識しながら、私たちは今後どのような「はたらき方」をしていくか、そして持続可能なのかを考え活動を進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2020年 5月
特定非営利活動法人ポラリス
代表理事 田口ひろみ



1. 会議等の業務

(1) 第4回通常総会の開催

日時：2019年6月1日（土）10:00～12:00

- 2018年度事業報告（案）・活動計算書（案）の承認
- 2019年度事業計画（案）・活動計算書（案）の承認

(2) 理事会の開催

◎2019年4月2日（火）17:30～18:30

- パート職員1名募集の提案について承認
- 職員の給与見直し（昇給）案についての承認

◎2019年5月21日（火）15:00～15:30

- パート職員1名採用について承認
- 定款の一部変更についての承認

◎2019年5月28日（火）9:00～11:00

- 2018年度事業報告（案）・活動計算書（案）の承認
- 2019年度事業計画（案）・活動計算書（案）の承認

◎2019年7月30日（火）18:00～18:30

- 雇用契約内容の見直しについての承認

◎2019年11月7日（木）18:00～18:30

- 常勤職員（就労B）1名の退職（2020年3月末）についての報告
- 新たな職員募集についての承認

◎2020年3月24日（火）18:00～18:30

- 常勤職員（相談支援室）1名の退職（2020年6月末）についての報告
- 新たな職員採用についての承認
- パート職員（就労B）1名の常勤としての採用についての承認

(3) 監査

◎2019年5月28日（火）16:00～18:00

- 2019年度事業報告（案）の監査、承認
- 2019年度活動計算書、貸借対照表、財産目録の監査、承認

2. 会員に対する業務

- 正会員・一般会員の入会、継続、休会に伴う業務
- 2019年度事業報告・活動計算書及び2020年度事業計画・活動計算書の送付
- 事業の案内や報告の資料の送付

3. 経理などの業務

- 資金管理として、現預金などの日常の管理状況を明確にする。
- 税務に関する業務として、源泉徴収税等の税務関連の業務を行う。
- 石田秀男税理士事務所に税務その他について業務を委託する。

4. 労務管理などの業務

- 法人に関連する人事労務管理、労働保険や社会保険関係の手続きに関する書類作成・届出、法改正および助成金に関する情報提供などの業務について、社会保険労務士法人プロゲートに委託する。

5. 総務関連などの業務

- 業務運営に必要な届出業務を行う。
- NPO法人としての宮城県への2018年度事業報告・活動計算書を提出する。

6. 広報などの業務

- ウェブサイト、フェイスブックを活用した広報活動を行う。
- ポラリス活動報告書、その他を作成し、広報活動を行う。

就労継続支援B型事業所ポラリス

- 1.事業所名 就労継続支援B型事業所ポラリス
- 2.事業開始年月日 平成27年8月1日
- 3.利用者定員 20名
- 4.従業員数 管理者1名（相談支援事業所管理者と兼務）
サービス管理責任者1名
職業指導員 1名（常勤専従）
生活指導員 3名（非常勤）
目標工賃達成指導員 2名（非常勤）

5.通所状況

	開所日数 (日)	登録者 数 (名)	のべ利用 者数 (名)	1日平均 利用者数 (名)
2015年度	174	16	1,438	8.3
2016年度	291	22	3,006	10.3
2017年度	278	22	3,208	11.5
2018年度	284	23	3,570	12.5
2019年度	269	21	3516	13.1

	登録者数 (名)	割合 (%)
山元町	13	61.9
亘理町	4	19.0
柴田町	1	4.8
岩沼市	2	9.5
南相馬市	1	4.8

6.主な就労支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設外就労	㈱GRA（清掃・箱折り・その他）											
	㈱ごえん （箱折り、その他）											
				（福）静和会 みやま荘 （窓ふき、その他）								
	（一社）まちづくり山元 （スタンプラリーアンケート回収・データ入力、ハーレー展示館清掃）											
								称名寺 （清掃）				
	フレスコキキチ山下駅前店 （ハッピーエコプラザ）											
	花の店しなほり （成果の搬入出）											
										㈱ひまわりシステム （風の章ガーデン植栽）		
アート活動	見晴 作品展示 （春）			見晴 作品展示 （夏）			見晴 作品展示 （秋）			見晴 作品展示 （冬）		
	徳本寺 テレフォン法話ライブ （法話イメージ作品制作）											
	八百物屋まるしん（アート作品展示）											
	亘理山元商工会 鳥の海ふれあい市場（パンフレットのイラスト制作）											
	青葉稲荷神社 （ミサコクロスでお守り制作）											
				グッジョブセンター （はりこ試作）								
園芸作業	松村クリニック （花壇づくり・手入れ）											
	風の章ガーデン（植栽 手入れ）											
	アートな園芸											
ボランティア	ピカピカ活動											
サロン活動	ピアサポート活動											
所内活動	事務補助・パソコン入力											
	文書発送のための宛名書き・封入作業											
	所内活動（洗濯・掃除・接客）											
										ハッピーコーヒー プロジェクト		



はたらく

今年度も様々な企業・団体の方に応援を
していただき、施設外就労やアートの仕
事に取り組むことができました。

アート活動では、では自己肯定感をもて
るように、また日々の施設外就労では自
己有用感につながるようにと、メンバーと
スタッフがその意義を共有し、同じ思いで
取り組めたことが多いに活動の成果と
なっていると感じます。

更に、新たな所内の活動として「ハッピー
コーヒeproject」がスタートしました。

自然と仲良くなる「風の章ガーデン」植栽
作業では、サービス付き高齢者住宅「風
の章」に暮らす皆さん、そして植栽や手入
れを担当する私たちも、四季折々の樹木、
花、ハーブを楽しみりフレッシュする場を
つくっています。今年はメンバーのアート
をいかした看板が完成しました。

「アートなプランター」を地域の公的な場
所に飾り、定期的に巡回し手入れをし
たり、お世話になっている駅や交流の場の
窓ふきなどの「ピカピカ活動」では、地域
に役立つ活動にいきいきと取り組みまし
た。

相談支援室ポラリスが新地町と山元町で
定期開催している「こぐまサロン」では、自
分と同じようにつらさを抱えている人との
対話と学びで、ピアサポーターとしての仕
事にもチャレンジしています。

今期はメンバーが1名、フレスコキクチ山
下駅前店ででの就労を始めています。

日々のアート活動



アトリエ 刺しゅう



㈱GRA いちごの箱折り



ハッピーエコプラザ



称名寺清掃



高齢者施設みやま荘 窓ふき



ハーレー展示館 ピカピカ活動



アートな園芸



フレスコキクチでの就労



「こぐまサロン」ピアサポート活動



アートな仕事

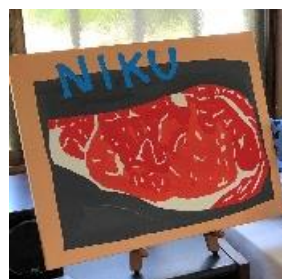
麺とご飯の店 見晴
アート作品展示(レンタル)



巨理山元商工会
鳥の海ふれあい市場 パンフレットのロゴ・イラスト制作



八百物屋まるしん
(四季の野菜、魚、肉のアートの制作・展示)



徳本寺 早坂住職
法話ライブイメージ画制作・展示



青巢稲荷神社 藤本宮司
2020年元旦にお配りするお守りの制作



「ポラリスコーヒープロジェクト」

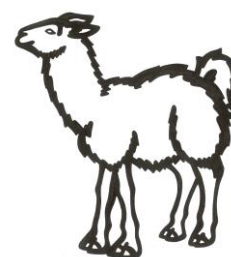
新たに「ポラリスコーヒープロジェクト」を企画しました。

プロジェクトに必要な備品購入費と、コンサルタント経費について支援を受け、当事者たちの力を大いに発揮しながら、美味しい且つギフトに適した商品づくりを進めました。

2019年度中にはパッケージデザインとオリジナル焙煎マニュアルの作成までが完了しました。2020年度前期の商品完成、販売を目指します。

【コーヒー豆焙煎機、コーヒーミル、シーラー購入費用】

コーヒー豆焙煎機、コーヒーミル、パッケージのためのシーラーを購入する資金についてご寄付をいただきました。(七十七銀行 七十七愛の募金)



【オリジナル焙煎＆コーヒーパッケージについてのコンサルタント】

コンサルタントに必要な費用について助成をしていただきました。
(みやぎセルフコンサルタント活用費用助成)



コンサルタントの依頼

①焙煎コーヒーづくりについてのコンサルタント

(依頼先) 来栖珈琲

コーヒーの豆選び・焙煎・袋詰め・パッケージ等の方法について、県内のコーヒー豆を自家焙煎し販売している専門家に指導を受けて、ポラリス利用者が主体となって自家焙煎などの作業ができるようにする。

②販売促進のためのコーヒーパッケージ作りについてのコンサルタント

(依頼先) 有限会社まゑむき

コーヒーパッケージを担当するポラリスアーティスト(利用者)、ポラリスのアート担当スタッフに加え、プロのデザイナーに本プロジェクトに参加してもらい、販路拡大のためのパッケージ、ギフトボックスなどのデザイン制作のコーディネートをお願いする。



「風の章ガーデンプロジェクト」

2019年4月～5月

エルフの森の岩佐さんの
応援をいただき、
お花やハーブを植えました。



マリーゴールド
パイナップルミント
ストロベリーミント
オレンジミント
イタリアンパセリ
パクチー
スーパセロリ
ローマンカモミール
等々です。



2019年6月～

風の章ガーデンで草取り等を行いま
いろいろな花が咲き始めました。
バジルも元気に育ってます。
来週はラベンダーを積んで
ラベンダーサシェを作れそうです。



昨日までの雨で駐車場に
水たまりができていました。
草取りやお手入れの合間に、
水たまりの中の生き物調査が
始まりました。

2019年7月

ヒメリンゴやクラブアップルなど
小さいりんごの実が
なり始めています。
ハーブも成長しています。



ブルーベリーやヒメリンゴが
少しずつ美味しくなっています。

2019年8月～9月

カリッペの草取りは、風の草取り。
可愛いりんごが鈴なり。
アルプス乙女という名前の可愛い。
今日のりんごは渋くない!
すっかり美味しくなりました!



日差しが強い季節ですが、
テントを広げ、日陰をつくり、
みんなで草取りしました。

2019年10月～

風の章ガーデン看板お披露目セレモニー。
お祝いに、みんなで「野に咲く花のように」を
歌ったり、おいしいハーブティーを飲んだり、で
たらめ音頭踊ったりしました。風の章の皆さん
とラジオ体操して交流したりおしゃべりしたり
握手したり。楽しい秋の1日でした。



風の章ガーデンを整備し始めて約1年。今日はいよ
いよ看板設置に取り掛かっています。植栽した樹木
を取り入れ、文字もメンバーの1人が書いたものです。
アトリエの看板と同じく、熊本のウッドサインショップと
言う手作り看板屋さんに色塗る前までを制作して頂
き、その後ポラリスのアトリエでメンバーたちが色を
塗りました。



台風で倒れてしまった木を、講師の向井さんにご指導
いただきながら植直したり、月桂樹については新しいも
のと取り替えました。

(松村吉一さまより委託 : 2018年10月～2019年11月)
(株)ひまわりケアシステムより委託 : 2019年12月～)

たのしむ・まなぶ

4月	お花見会@角田市高蔵寺 イチゴ狩り@GRAイチゴワールド
5月	大人も子供も遊び隊フラワーアート@おもだか館
6月	JRで仙台市長町へ。八百物屋まるしんさんこんにちは
7月	買い物&食事@道の駅かくた 霊友会笑顔祭り@ひだまりホール
8月	福祉まつり参加@ひだまりホール
9月	ほうねん座公演鑑賞@ひだまりホール 新地フォーラム「ANDANTE」@新地町公民館
10月	「山元はじまるしえ」@夢いちごの郷 徳本寺テレフォン法話ライブ 風の章ガーデン看板完成パーティ
11月	バス旅行@仙台南の杜水族館 山元町町民文化祭@ひだまりホール 映画「タリナイ」鑑賞@亙理町悠里館
12月	岩瀬先生のクリスマスパーティ@日立システムズホール 山元町バリアフリー研修会@ひだまりホール クリスマス会@新地町保健センター
1月	八重垣神社初詣 新年会@ひだまりホール
2月	SOUP見本市出展@仙台メディアテーク
3月	お花見交流会@ポラリス



高蔵寺



イチゴワールド



まるしん



フラワーアート



福祉まつり



笑顔まつりアトリエ



サツマイモほり



山元はじまるしえ



クリスマスパーティ



うみの杜水族館



八重垣神社初詣



お花見交流会



クリスマス@新地町こぐまサロン

就労継続支援B型事業所ポラリス ～はたらく・たのしむ・まなぶ～

「被災地の障害者が素敵に生き、はたらくことを応援するプロジェクト」

事業の目的



被災地で暮らす障害者が
地域に出て、健やかに生き、はたらくために、
今必要で、且つ当事者にマッチした
より柔軟で夢と希望のある支援を、
様々な立場の方や専門家の協力を得ながら進め、
そのプロセスを経て、
当事者自らが力をつけていくことにつなげました。

事業の内容



次の3つのテーマで取り組みました。

- ①フィジカル&メンタル：健やかに地域で生きる
- ② ソーシャル ：安心して地域で暮らす
- ③ グッドジョブ ：地域で素敵にはたらく

Physical

健やかに地域で生きる



食育・調理



口腔ケア



ポラリス体操

Mental

健やかに地域で生きる



芸術鑑賞・ダンスWS

語り・朗読



Social

安心して地域で生きる



付き添い



生活費の自己管理の支援



ポラリスカフェの開催

Good Job

地域で素敵にはたらく



アートな園芸



地域と心のピカピカ活動



アート&カフェ

(東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト:2018年7月～2019年6月)

相談支援室ポラリス

1. 事業所名 相談支援室ポラリス
2. 事業開始年月日 平成30年12月1日
 - 指定特定相談・指定障害児相談支援事業
 - 新地町障がい児者相談支援事業（平成30年11月5日～）
3. 従業員数 管理者・相談支援専門員1名
相談員2名（専従1・兼務1）



◆損保ジャパン車両助成
（送迎・訪問用車両）

4. 主な取り組み

- ★相談援助についての専門知識と技術を習得し相談支援を担う専門スタッフを2名育成しました。
- ★山元町及び新地町にて来所、電話、訪問、サロン等で、障害者のべ146人（実人数21名）、障害児のべ93人（実人数18名）に、福祉サービスの利用に関する支援をはじめ、障害や病気の理解に関する支援、孤立による不安の解消などの相談支援を行いました。
- ★町内及び周辺地域のサービス事業所や関係機関との連携を深めて、地域の社会資源や専門機関を把握し、個々のニーズに沿ったケアマネジメントを行政と連携し進めました。
- ★「しんちまち☆こぐまサロン」を月2回、「やまもと☆こぐまサロン」を月1回開催し、当事者同士のピアサポート活動を取り入れながら、障害者やその家族が弱さやつらさをのりこえて力をつけるための居場所づくりに努めました。

フォーラム「ANDANTE」～障がいのある人もない人も～

（目的）新地町で、初めての障害福祉に関するフォーラムを開催し、立場を超えて障害福祉について学び合う機会をつくりました。催名の「ANDANTE(アンダンテ)」とは、音楽用語で「ゆるやかに歩くくらいのテンポ」の意味。散歩に行くようなゆっくりとしたテンポで参加できるような開かれたフォーラムを目指しました。フォーラム開催には、ポラリススタッフやメンバーのほか、司会や会場準備など役割でボランティアの協力をいただきました。

（開催日）2019年9月29日（日） 10時～12時30分
（場所）新地町農村環境改善センター（新地公民館）
（参加人数） 96名：新地町28名、山元町27名、その他41名
（内容）

- 第1部「大人もこどもも、みんなで楽しく踊ろう！参加型ダンスパフォーマンス」
（出演）NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 第2部『「弱さと苦勞を力に変える」：元気の出るお話と音楽』
（出演）KOBES-2：津田 英二さん（神戸大学教授・神戸大学附属特別支援学校校長）他2名
- 第3部「ほっとひといき交流タイム」



相談支援室ポラリス

「相談支援室」整備プロジェクト

「やまもと☆こぐまサロン」の企画実施

実施日：毎月第3水曜日
会 場：つばめの杜ひだまり
内 容

- ①個別相談援助
- ②集いの場でのグループワーク
- ③企業・団体の方へお伝えする場
- ④障害福祉の情報共有の場
- ⑤地域の方とつながる場



「相談支援室ポラリス」を開設し、公的サービスにおける支援にとどまらない、柔軟かつ迅速な支援ができる体制づくりをすすめました。具体的には、この地域で暮らす障害者の支援として、個別支援をベースとしながらも、様々なグループワークやコミュニティワークを行いました。その上で、この地域の課題と、地域の特性に合った障害福祉の進め方を行政や関係機関と意見交換しながら、次年度は法人や事業所の枠を超えた障害者の地域生活支援の体制づくりについて更に連携し取り組みます。

また、今回、当団体が試行的に地域で企画開催した「やまもとこぐまサロン」は、障害福祉からアプローチした「地域共生社会」を目指す地域づくりの取り組みであることを理解していただき、2020年度は山元町の事業（業務委託事業）として取り組みます。



「障害児者支援のためのフィールドソーシャルワークの拠点『相談支援室ポラリス』整備プロジェクト
住友商事 東日本再生フォローアップ・プログラム2019 (実施期間：2019年4月～2020年3月)

新地町障がい児者相談支援事業 (委託事業)

◆個別相談援助の充実

- ・43名の方とつながり、基本相談は電話、訪問、来所などの方法でのべ595件の相談援助を実施しました。
- ・当事者及びご家族が気軽に相談が出来る場と集える場「しんち まち☆こぐまサロン」を新地町保健センターで毎月2回(3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止)全22回実施し、相談は46名、サロン利用は94名でした。

◆町内外の様々な人・団体と連携して取り組む (町内)

- ・学校、高齢者サービスを担う法人・事業所、社会福祉協議会、その他協力者と連携することをすすめました。
 - ・相談支援事業のこれまでの取り組み(実績)紹介と、新地町の障害福祉の現状考察(本当に支援が必要な孤立している方・家族で抱え込んでいる方にはつながっていない)、地元で資源をつくること、専門スタッフを育てるためにどう方法が良いか、居場所づくりの必要性などについて話し合いを持ちました。
- 行政側に活動の進捗を随時報告させていただき、地域が考える新地町の障害福祉の課題について共有することにつとめました。

(相双地区)

- ・障害者サービス事業所、相談支援事業所、保健福祉事務所等の関係機関との連携会議や障害福祉の質を高める研修に参加させていただきながら、周辺地域の福祉サービス体制の把握につとめました。

◆「障害福祉」についての理解を広める機会づくり

当事者・家族等の支援者、行政、地域住民がそれぞれの立場で「障害福祉」について理解を深める機会を行政と連携し実施につとめました。



書道
ワークショップ



コーヒーワーク
ショップ



朗読
タイム

「ポラリス×新地町 障害福祉エンパワメントプロジェクト」

山元町で活動しているポラリスメンバー(当事者)やその家族の協力を得ながら、専門スタッフによる相談援助と集いの場づくりを実施し、新地町においても障害者に対する理解を様々な形で広め、当事者や家族が町内で気軽に相談、仲間づくりができる居場所づくりが進み、新地町に暮らす障害者が生きる力をつけ、また被災した過疎地域の障害者福祉の充実化(エンパワメント)を進めました。

〈実施事業の概要〉

- ◆サロンでのピアサポート活動費をご支援いただきました。
同じようなつらさを抱えている当事者や家族が、対話や交流をしながら、ピアサポート活動の経験を重ねました。
- ◆スタッフが、新地町での新たな業務や先進地の視察研修などを通して、障害者支援のスキルと意識を高めました。

新地町こぐまサロン2018～2019の企画実施

①チラシのデザイン・作成 / 広報活動

活動周知を図るために、町の広報誌への掲載と、活動案内リーフレットを作成して新地町の当事者(500名)に案内(郵送)、町内の小中学校などに配布し、広く情報を発信しました。

②サロン(相談室&集いの場)を毎月2回(計34回)実施しました。

山元町で活動する障害者(ポラリスメンバー)や保護者、ボランティアが新地町に出向き、アート活動などを一緒に取り組んだり、話し相手になるなどして、新地町で暮らしハビリ中の方、生きづらさを抱えている方などのピアサポートを行いました。相談室利用 44名 / サロン利用 98名 / 山元町からのピアサポーター のべ171名



スタッフ研修@滋賀県 共生シンフォニー / やまなみ工房 5名参加

新卒や他業界からの転職者を含む新人スタッフが、ポラリスと同じく障害者福祉に取り組む団体を視察訪問し、団体設立の経緯や現在の活動内容を伺ったり、施設内外や利用者さんの日々の活動の様子を見学する、またスタッフ間の情報交換等を通じて、就労・アート・生活など障害者福祉の現場の先進事例を学ぶこと、そして当団体の今後の活動のヒントを得ることにつなげました。当団体の改善すべき点と、ずっと持っているべき考え方や内容について考えたり、これまでの各々の自分の仕事、働き方を振り返る振り返り会にてフィードバックを行いました。



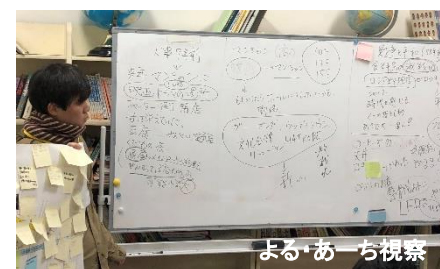
ポラリス×新地町 バスでの交流研修@仙台市うみの杜水族館 30名参加

大型バスを使用することで、ポラリス利用者と新地町サロン利用者、家族、職員らが楽しく親睦を図る機会を作れました。外出を通して、周りの人と協力する事やと社会のマナーを学び、お金を計画的に使う練習、広い施設や薄暗い場所での過ごす経験をして慣れるということを目的に実施しました。参加された方からは、「水族館に初めて行きました。」「普段あまり話す機会のない人との親睦も図れた」「とても楽しい1日だった」「なんて大きな水族館なんだろうと感激しました」「レストランで好きなものを食べてうれしかった」「イルショーでイルカが飛び跳ねてすごかった」「ペンギンの歩いている姿が可愛かった」「途中で体調を崩さず見れて良かった」という感想がありました。



理事の先進的活動視察@神戸 100年福祉会 / 神戸大学「よるあーち」/ あんだんて神戸 3名

神戸大学大学院人間発達環境学研究科が神戸市から委託を受けて15年前から「障害のある人もない人も共に集って楽しみ学ぶ居場所づくり」を実施している「よるあーち」、「人と表現を考える場」を通して、重度障害者の芸術活動を支援している「片山工房」、知的障害や発達障害のある児童、青少年、成人を対象に音楽を通した余暇活動を行っている「あんだんてKOBÉ」3箇所を視察しました。当事者への権利擁護、差別解消を基本に置いた先進的取り組みが定着しており、今後の山元町と新地町での活動ビジョンへの大きなヒントとなる視察でした。



(「5のつく日」JCBで復興支援[フィナンソロピーバンク]: 2018年10月～2020年3月)

組織基盤強化

「ポラリス×新地町 障害者の社会資源と人材をつくるプロジェクト」 ～スタッフの育成とチームワークの強化～

活動エリアを山元町と、福島県新地町に広げ、被災した過疎地域の「弱者支援」「心身のケア」「地域創生」に目を向け、障害者が「素敵に生きて、はたらく」ための支援を行いながら、新たに障害者の社会資源と人材を育成することを進めました。

これまで築いてきた障害者支援をはじめとする活動を定着、成熟させながら、新たに加わったスタッフが、山元町で障害者支援に関するケアワークからコミュニティワークまでのスキルを学びながら、新地町での相談援助や居場所づくりに挑戦し、また設立当初からのスタッフも新地町での新たな資源づくりとスタッフの育成に参加しながら、さらなる意識向上とスキルアップ、そして団体全体のチームワークの強化を目指すことにチャレンジしました。

〈組織基盤強化の目標〉

- ◆新地町に初期の障害者支援の場づくりを試み、社会資源づくりにつなげる。
- ◆様々なケースに対応する相談援助業務を担うスタッフを 1名育成する。
- ◆各スタッフのスキルアップとチームワークを強化し、被災した過疎地での持続可能な障害者支援活動を目指す。

ポラリスの目標 × 新地町の課題

障害者支援を担う
《専門スタッフ育成》
+
意識とスキルの向上
《チームワーク強化》

障害者が集う&
相談する場をつくる
《社会資源をつくる》

設立時の思いを、スタッフ全員で共有し、
持続可能な組織づくりへ。



たんぽぽの家播磨理事長の講話を聴く



パソコンのスキルアップを目指す



チームワークの強化を目指す



インターン研修から学ぶ

このように、障害者の社会資源づくりや人材育成がスタートし始めています。被災した過疎地である山元町と新地町の障害者と支援者それぞれのエンパワメントと、当団体スタッフがとても有意義な経験を積み、地域での持続可能な障害者支援と地域づくりを一步步進める担い手として経験を積んでいます。

そのプロセスを通して、スタッフが視野を広げ、チームワークを強化し、当団体の組織基盤強化につながっていると実感します。

(東日本大震災現地NPO応援基金 一般助成:2018年10月～2019年9月)

組織基盤強化

企画研修

実施時期	研修名
4月 (5日間)	「パソコンスキルをアップするためのワード・エクセル技術講習」 * 事務処理の効率化と技術の向上を目指す (講師) 一般社団法人スマイルファクトリー 代表理事 田所信幸さん
4月19日	「人材育成とチームワーク構築に関する勉強会」 * スタッフ各々の強みを活かしあえるチームのあり方を検討する (講師) 合同会社あまね舎 代表社員 / 国学院大学 経済学部 特任助教授 斉藤光弘さん
5月10日	「持続可能なNPO活動に関する勉強会」 * NPO活動を理解し、ポラリスの活動を考えていく (講師) せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事 事務局長 青木 ユカリさん
6月10日	「コーヒー焙煎を通じた障害者の仕事づくりに関する視察」 * 就労A/B事業所で取り組んでいる「津軽お化けコーヒー」等のオリジナル コーヒー商品づくりについて学んだ。 * NPOで企画実施している「傾聴サロン」を視察した。 (視察先) 株式会社つがるねっと(弘前市) 特定非営利活動法人ほほえみの会(五所川原市)
8月23日	「事例から学ぶ福祉専門職の視点と実践」 * 社会的弱者の権利擁護のために貢献する職員を育成する (講師) 日本精神保健福祉協会 社会保障問題検討委員会委員長 鶴 幸一郎さん
6月～9月	「障害児者ケアマネジメント(相談支援事業など)の現場実習」 * 相談支援事業等に関するインターン研修 (講師) 社会福祉法人ありのまま舎 サポートケア亘理ありのまま舎基幹相談支援センター、他
6月20日 ～6月22 日	「アートや就労、地域とのかかわり方や仕事づくりなどから障害者福祉全般を学ぶ」 (研修先・内容) 一般財団法人たんぼの家/Good Job! センター香芝 * Good Job! センター香芝: 活動内容についての理念や活動、メンバーの働き方の仕組み * 播磨理事長の講義 * たんぼ生活支援センター、たんぼ相談支援センター: 地域支援、福祉ホーム見学、情報交換 * 住まい「コットンハウス」「有縁のすみか」についての説明・見学 * 「六条山カフェ」を通じた地域活動 * 「アートセンターHANA」のプログラム(アトリエ、テキスタイル、コミュニティカレッジなど) 視察
7月23日 8月19日 ～ 8月20日	就労B事業所のアート活動に関するインターン研修 (研修先) 一般社団法人アート・インクルージョン * 一日の流れとスタッフ・パートナーの動きから学ぶ * 施設のスタンスについて、利用者の傾向について、スタッフ体制について * 各々の関わり方や、担っている業務の現状、支援についての情報交換
7月29日 ～ 7月31日	就労移行支援事業の事業所見学と、グループワークについて学ぶ(研修先) NPO法人ほっぷの森 * NPO法人ほっぷの森: 事業紹介 * 就労支援センターほっぷ: それぞれのプログラムの目的や内容を学ぶ * 「びすたーり」、「じょじょ」、「びすたーりフードマーケット」見学
8月23日	「地域共生社会ってなんやねん」 * ソーシャルワークの基本姿勢を講師のこれまでの働き方から学ぶ (講師) 日本精神保健福祉協会 社会保障問題検討委員会委員長 鶴 幸一郎さん
8月3日 ～ 8月4日	「福祉ってなんやねん～広い視野で社会的弱者等の支援の課題等を学び、これからのポラリスの活動の方向性を考える」(主催) 社会福祉法人フォレスト倶楽部 ① 埼玉大学 経済学部 高端正幸さん「私たちを取り巻く福祉財政」 ② 立命館大学 産業社会学部 桜井啓太さん「福祉政策における自立支援という名のレトリック」 ③ 大阪歯科大学 保健学部 芦田麗子さん「福祉専門職が学ぶジェンダー 問題」 ④ NPO法人地域の絆 中島康晴さん「ソーシャルワーカーの現状と行方」
10月24日 ～ 10月26日	就労・アート・生活など障害者福祉の現場の先進事例を学ぶ (視察先) 滋賀県 社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房 / 社会福祉法人共生シンフォニー * 新卒や他業界からの転職者を含む新人スタッフが、ポラリスと同じく障害者福祉に取り組む団体を視察訪問し、団体設立の経緯や現在の活動内容を伺ったり、施設内外や利用者さんの日々の活動の様子、スタッフ間の情報交換等を通じて、就労・アート・生活など障害者福祉の現場の先進事例から今後の活動のヒントを得る。これまでの各々の自分の仕事、働き方を振り返る振り返り会にてフィードバックを行う。
12月13日 ～ 12月14日	理事 神戸3団体視察研修 (視察先) 神戸大学大学院人間発達環境学研究所 サテライト施設「よるあーち」 特定非営利活動法人100年福祉会 片山工房(生活介護事業) / NPO法人あんだんてKOBE * 「のびやかスペースあーち」の遊び・学 び・食事・交流を通じた新しい コミュニティづくり * 片山工房新川さんの「人を軸にする活動」のあり方を伺う * あんだんて: 音楽療法の様子を視察。多様性を認める表現活動の意義を学ぶ
12月16日 1月20日 2月17日	障害者の高齢化・重度化に対応するための「ケアカアップ研修」 * 車椅子の操作と支援方法の理解(阿部和宏先生) * 自然な体の動きと転倒予防 * 衛生面の支援①感染予防の理解 (講師) 聖和学園短期大学キャリア開発総合学科専任教員 阿部和宏さん



GoodJobセンター香芝



やまなみ工房



フォレスト倶楽部の勉強会



がんばカンパニー



片山工房



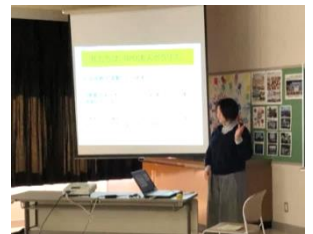
あんだんてKOBE



ケアカアップ研修

活動報告・紹介

6月14日	日本NPOセンター 東日本NPO応援基金 報告会 (会場)日本生命丸の内ガーデンタワー
7月29日	河北新報 夕刊「NPOの杜」にて活動紹介
10月26日	武田薬品×日本NPOセンター 組織基盤強化事業 ③「実践紹介1 (わたしとコミュニティワーク-実践活動から-)」 (会場)秋保温泉ホテルニュー水戸屋
1月29日～1月30日	一般社団法人 全国労働金庫協会 〈東北 ろうきん〉 東北地方における 地域の社会的課題解決に向けた ネットワーク づくり意見交換会及び山元町視察(活動紹介) (掲載)全労協会HPブログ
2月2日～2月5日	宮城県 & 仙台市×エイブル・アート・ジャパン 障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市 「きいて、みて、して、見本市。」 (会場)せんだいメディアテーク
2月14日	令和元年度「新しい東北」復興・創生顕彰 顕彰式 (会場)仙台サンプラザ
2月20日	山元町の中学3年生「卒業おめでとう記念」 Happyやまのもと～山元ものがたり～のお話 (場所)山元町立坂元中学校



令和元年度「新しい東北」復興創生顕彰 受賞（復興庁）

ポラリスは、「世代や立場を超えた対話と学びの場づくりや、障害者と地域の人たちが共に町の魅力を発信するアート制作に取り組み、新しい山元の創生を目指し活動したことを評価されました。

復興庁から「新しい東北」の創造に向けた取り組みで貢献をしている団体として選定された9団体(令和元年度の応募件数147件)のうちの1団体に選ばれました。

2015年に法人を設立してから今日まで、町内外からたくさん

の方々が活動に関わり、応援してくれたおかげです。これからも誰もが素敵に輝ける地域づくりを目指して活動を続けていきます。



＜NPOの杜＞地域づくり道標目指す ポラリス(宮城・山元)

2019年07月29日 月曜日 河北新報 夕刊



花を植えて地域に飾るためのプランターに絵を描く利用者ら。ポラリスは「アート」の力を生かしている

NPO法人ポラリスは東日本大震災で被災した宮城県山元町で、地域づくりと障害者福祉の推進を目指しています。障害者就労継続支援B型事業所＝？＝のほか、同町と隣接する福島県新地町の2カ所で「相談支援室ポラリス」を運営。地域住民も共に学んで交流する場づくりにも取り組んでいます。

山元町は震災で大きな被害を受けました。人口は1995年ごろをピークに減少。さらに震災で、仙台市などへの転出が一気に進みました。

震災時は町全体が被災した上、元々専門家らが少なく、障害者支援は手薄でした。一方、被災した障害者が抱える生活ニーズはたくさん見えてきました。

「地域全体が復興しないと障害者福祉を認めてもらえない」。ポラリス代表の田口ひろみさんは当時、こう考えたそうです。

田口さんは、県外の支援者の力も得ながら、地域全体が元気になるような活動の在り方を模索。2015年にポラリスを設立しました。

「アート」の力を生かす活動が特徴の一つです。

就労支援事業では、宮城県南の市町の障害者を含め20人余りが、企業や施設などで就労訓練に参加しています。その際、障害の種類や症状の度合いにより、スムーズに活動になじめないことがあるそうです。

就労につなげるには段階が必要。まずはそれぞれが「自分ができること」を知り、認められ、自信を持つことが第一歩です。

「アート活動による自己肯定感の高まりが、就労先での活動や人間関係を円滑にする」と田口さんは言います。

利用者の一人、門間美佐子さんは刺しゅう作品を完成させました。針をまっすぐ運ぶことが難しかったそうですが、その特性を生かし花火のような弧を描く個性的な作品が出来上がりました。スタッフや仲間から出来栄をほめられた門間さん。はじけるような笑顔が印象的です。

ポラリスは「障害者自身も地域づくりの担い手」という信念の下、それぞれの力を引き出す「エンパワーメント」を進めています。

同時に、就労先の開拓や地域との協働体制の整備にも力を入れています。その分野は産業、観光、文化・芸術、教育など福祉にとどまりません。

「業種や専門性は違って、地域の再生や発展を願う気持ちは一緒」と田口さん。積極的に企業の経営者らに対し、利用者と支援者が語り合う「コミュニティカフェ」などへの参加を呼び掛けています。

ポラリスとは、道しるべとなってきた「北極星」のこと。過疎化や被災の経験も糧に、山元町ならではの地域づくりを目指す中で、「障害者や地域の人たちの道標になりたい」との思いが込められています。

(宮城県サポートセンター支援事務所 眞壁さおり)

[障害者就労継続支援B型事業所] 障害者総合支援法に基づき、一般企業で正規に働くのが難しい障害や難病のある人が軽作業などの就労訓練を行う事業所。宮城県山元町のポラリスは地域をフィールドにした施設外就労を実施。障害者が委託契約先の町内のスーパーや農業施設に出向いて作業している。

JCB 復興支援、「障がい福祉」の新たなモデルづくり

2011年の東日本大震災発生後、JCBは『「5」のつく日。JCBで復興支援』を立ち上げ、被災地のさまざまな活動を支援してきた。5月までの「5日」「15日」「25日」にJCBカードを利用すると、買い物1件につき1円が復興支援活動に寄付される仕組みだ。支援先の一つ、特定非営利活動法人ポラリス（宮城県山元町）の田口ひろみ代表理事は、「障がい福祉」の新たなモデルづくりに挑戦し続けている。（オルタナ副編集長＝吉田広子）

震災後の障がい者支援に奮闘



ポラリス代表理事の田口ひろみさん

宮城県最南端に位置する山元町は、イチゴが名産の海沿いの町だ。

2011年3月11日に東日本大震災が発生すると、大津波が町を襲った。当時、山元町の社会福祉協議会職員として障がい者の就労支援施設や地域生活支援事業の管理を担っていた田口さんは、利用者約20人とともに近くの避難所に避難。その後、施設は休止し、利用者は自宅に戻ったり、親戚の家や避難所で暮らしたりすることになった。

大震災という非常事態下で、障がいがある本人もその家族も疲弊し、心のケアが必要な人は増えた。しかし、町に精神科はなく専門家も少ない。そこで、精神保健福祉士の資格を持つ田口さんは、避難所と、施設利用者が身を寄せる実家や親戚の家を訪問し、少しでも体調の悪化を防ぐために朝から晩まで巡回した。幸いだったのは、全国から福祉の専門家がボランティアに駆け付けてくれたことだ。

田口さんは「職員も亡くなるなど、それぞれが精一杯で、助け合う余裕がなかった。そうしたなかで、全国から思いを持って応援に来てくれた障がい者支援団体の専門スタッフ、精神科クリニックの医師やワーカーなど、たくさんの人に支えてもらった」と振り返る。こうした支援者らの存在は、障がいがある利用者にも影響を与えた。「優しさに触れ、受け入れられることで社会性が育まれてきた。支えてくれる人の大切さを実感した」（田口さん）。この経験はいまの活動にもつながっているという。

地域の一員として支え合う仕組みを



利用者のアートを使ったポラリスのポスター

震災から4年が経ち、復興支援が徐々に減っていくなか、田口さんは2015年3月に社協を退職し、新たな挑戦を始めた。山元町には精神科がないからこそ、コミュニティで支えることが重要だ。障がいがある人が町の復興に貢献することで、地域の受け入れ方も変わってくるのではないかと――

そこで、障がい者自身を地域の担い手にしようと、NPOのポラリスを設立し、「障がい者支援」「心のケア支援」「地域コミュニティ創造」の3つの事業を開始。これらの活動に「アート」を取り入れているのも特徴だ。北極星を意味する「ポラリス」には、「素敵な生き方はたらしき方」の道標になりたいという思いを込めた。



宮城県山元町の清掃活動の一環で、被災した米ハーレーダビッドソン社製のオートバイ2台を展示する「TSUNAMI/ハーレー展示館」の窓と展示パネルをきれいにした

「障がいがある本人もその家族らも相談する場がなく、取り残されている人たちがいると思った。気軽な気持ちで行ってみたいと思ってもらえるように、可愛いフライヤーのデザインにもこだわった。新たな相談室の開設はこれからのポラリスを支える人材育成にもつながるのではないかと考えた」（田口さん）

相談支援室ポラリスでは、福祉サービスの利用援助や専門機関の紹介、サロン事業などを行っている。山元町のポラリスメンバーも、同じ立場で話し相手になったり、アートで交流したりする「ピアサポート」活動に取り組む。「当事者同士で話ができるのは心強い」と評判だ。



福島県新地町では、2019年9月に初めての障がい福祉のフォーラム「ANDANTE」を開催。95人が参加し、障害のある人もない人もともに支え合って生きる地域づくりの一歩となった

ポラリスの活動は、県境を越えて福島県新地町にも広がっている。山元町に隣接する新地町は被災によって人材とノウハウが不足し、障がい福祉が進まない状況があった。ポラリスの活動を知った当事者たちが声を上げ、新地町の職員がポラリスを視察することになり、連携が始まった。

2018年10月には、『「5」のつく日。JCBで復興支援』の寄付を受けて、山元町に隣接する新地町で障がい者の個別相談を受ける「相談支援室ポラリス」を創設した。

この事業は2018年11月から「新地町障がい児者相談支援事業」という形で新地町から業務委託を受けることになった。2018年4月から「新地町の障がい福祉は、個別相談支援業務と当事者対象のニーズ調査から進めていくことが必要である」と、行政と繰り返し意見交換を行い、互いの信頼関係を築くことで連携に至った。

田口さんは「新しい試みは行政の理解を得にくい。だからこそ、民間であるJCBの支援を受けて試行的に事業を展開できたことで、行政に実績を見せられた。それが町の事業として認められ、これからはオフィシャルに動くことができる。より多くの人巻き込めるようになれば、さらに可能性も広がる」と意気込みを語る。

南相馬市など福島沿岸北部の自治体やNPOとの連携も進んでいる。「行政区域を越えての活動は、社協の職員では実現できなかった。NPOを起業したからこそ成し遂げられた」（田口さん）。いつかまた災害が起きるかもしれない。そうなったときに、誰と助け合えば良いのか。障がいがあっても社会性を育み、その人の好きさを地域に知ってもらえれば、助け合えるコミュニティができるのではないかと。「震災で多くの人が犠牲になったが、私は生き残った。そして、たくさんの支援を受けてここまですることができた。私たちの生きる力を使って、障がい福祉と地域の新しいモデルを作っていくことが、一番の恩返しだと考えている。小さな事例だが、エンパワメント（力を与える）できるようにこれからも活動を続けていきたい」（田口さん）

『「5」のつく日。』を担当するJCB広報部CSR室の佐藤貴之室長は、「『「5」のつく日。JCBで復興支援』では、のべ約200団体へ5億円強を寄付し、震災などの自然災害で被災された方々への緊急支援や、顕在化した社会課題への取り組みに活用いただいた。ポラリスには地域社会と団体、両者の未来を見据え、両者にとって長くメリットが生じるように寄付金を活用いただいた。『「5」のつく日。』の寄付が一時の支援に留まらず、未来につながるように活用され、大変に嬉しい。ぜひともポラリスの取り組みが成功し定着してほしい」と期待する。

応援をありがとうございます

(特非)アート・インクルージョン、(特非)アートワークショップすんぷちよ、青巢稲荷神社、(特非)あさがお、朝日山荘厳院 稱名寺、(同)あまね舎、(福)ありのまま舎、(特非)あんだんてKOBÉ、石田秀男税理士事務所、岩瀬りゅう子ファミリー、(特非)エイブル・アート・ジャパン、エルフの森、ガーデン工房 結-YUI-、合戦原区、(株)河北新報社、菊邑、木村工事(株)、(福)共生シンフォニー、(公財)キリン福祉財団、(株)国井印刷、来栖珈琲、劇団短距離男道ミサイル、神戸大学大学院総合人間科学研究科、KOBÉ5-2、(株)ごえん、こげら合唱団、(株)GRA、(株)ジェーシービー、(株)七十七銀行、(特非)市民社会創造ファンド、生涯学習ボランティア交流センター、(福)祥心会、鷲峰企画、新地町、(株)菅原工務店、(有)鈴や、(一社)スマイルファクトリー、住友商事(株)、(株)スルーエイジ、(福)静和会、(学)聖和学園 静和短期大学、(一社)全国労働金庫協会、(株)仙南測量、仙南ベニヤ(株)、(特非)せんだい・みやぎNPOセンター、曹洞宗 光明山 徳本寺、(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団、武田薬品工業(株)、(医)多布施クリニック、(一財)たんぽぽの家、認定NPO法人地星社、(株)つながるねっと、ドイツ語婦人会、東京日本橋ライオンズクラブ、東北リサーチとアートセンター[TRAC]、東北労働金庫、奈良たんぽぽの会、(株)ナルケ自動車、(特非)日本NPOセンター、日本たばこ産業(株)、(公社)日本フィランソロピー協会、(公財)日本YMCA同盟、復興庁、バーCozy、花の店しなほり、(株)ひまわりケアシステム、PMJ歯科、(特非)100年福祉会 片山工房、ファイザー(株)、(福)フォレスト倶楽部、(株)福祉新聞社、プチット・ジョア、フレスコ(株)、社会保険労務士法人プロゲート、(福)房香会、(特非)ほっぷの森、(特非)ほほえみの会、(有)まゑむき、(株)マックス設計、(医)松村クリニック、(一社)まちづくりやまもと、(一社)まなびの森、(株)まるしんシステム、みやぎNPOプラザ、(一財)宮城県肢体不自由児協会、(福)宮城県社会福祉協議会、(一社)宮城県手をつなぐ育成会、みやぎ心のケアセンター、(特非)みやぎセルフ協働受注センター、民族歌舞団ほうねん座、(特非)麦の会 こっぺ、麺とごはんの店見晴、モナッシュ大学、八重垣神社、(有)安田工務店、(福)やまなみ会 やまなみ工房、山元町、(福)山元町社会福祉協議会、山元町文化協会、山元町教育員会、山元の未来への種まき会議、山元はじまるしえ実行委員会、ゆかりの茶室にひかりをあてるっちゃGO 山元いい茶組、(特非)亘理いちごっこ、ライオン運輸(株)、ライオンズクラブ国際協会330-A地区、(株)楽天野球団、霊友会「ありがとうこだま基金」、(福)わたぼうしの会、亘理山元商工会

ほか たくさんの方々から、あたたかいご支援とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

[組織概要]

設立年月日	2015年5月14日
代表理事	田口 ひろみ
理事	品堀 学 佐藤 路代
監事	大山徳江
会員数	正会員 13名
一般会員100名、13団体	(2019年3月31日現在)
住所	〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原72番地64
TEL/FAX	0223-36-7410
MAIL	koguma@polaris-yamamoto.com
WEB	http://polaris-yamamoto.com